

# 学校関係者評価委員会 記録

## 評価委員

立川メディカルセンター常務理事 晴麗看護学校長 上原徹

悠遊健康村病院 リハビリテーション科 技師長 近藤公則

悠遊苑 リハビリテーション科 主任 平原奈緒美

晴陵リハビリテーション学院 学院長 吉井新平

晴陵リハビリテーション学院 理学療法学科 学科長 菫澤力

晴陵リハビリテーション学院 作業療法学科 学科長 上杉文都

晴陵リハビリテーション学院 事務長 五十嵐孝之

## 令和2年3月30日記録

新型コロナウイルスの蔓延防止のため、集まっていたく形ではなく、本年は資料・説明をお渡しし、後にそれぞれよりご意見をいただく形を取らせていただきました。

上原評価委員は令和2年3月27日、近藤評価委員、平原評価委員は令和2年3月24日に意見聴取を行いました。頂いた意見をふまえ、今後の学院の運営、教育現場の改善に反映をさせていきたいと考えています。以下の通り記録します。

## 事務局説明

今年度よりグループ病院・施設において、教員が現場に関わっていける機会が大幅に増え、医療現場との連携を図ることができ、教員の知識技術のバージョンアップだけではなく、学生へのフィードバックもしやすくなった。今後も立川メディカルセンターグループ関連病院施設と調整し、現場のニーズを教育や学生にフィードバックできるよう教員や学生のやり取りを増やしていけるよう努力する。

# 晴陵リハビリテーション学院 自己評価表

R2.2.28 実施

## 1. 学校の教育目標

国家試験（理学療法士・作業療法士）合格率 100%

就職率 100%

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教員による高校訪問、相談会・ガイダンスへの積極参加、学校説明会・体験入学会オープンキャンパスなど広報活動をしっかりと行い、入学者数定員（各40名）を確保する  
退学者の減少

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	④・3・2・1	別紙I記載
学校における職業教育の特色は何か	④・3・2・1	別紙I記載
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4・③・2・1	
学校の理念・目標・育成人材像・特色・未来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4・③・2・1	HP、パンフレット等に記載
学校の理念・目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4・③・2・1	

### 事務局説明

本年度、大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請（高等教育修学支援新制度）を行なったため、教育理念、教育目標等の情報公開を行なっております。現在は、ホームページの「公開情報」に申請承認に必要な情報の公開を載せています。昨年、いただきましたご意見も踏まえ、病院施設の方たちと接する機会（臨床実習指導者会議や就職説明会など）を利用し、業界の情報収集を行なっています。

## I. 課題

- ・業界のニーズを把握する手段がまだ不足している

## II. 今後の改善方策

- ・学校の教育手法を広報に明記、学校の理念・目標・人材育成像・特色と合わせて、幅広く認知してもらえるよう広報資料を作成する
  - ・あらゆる機会を使い、業界のニーズや今後を探り、教育活動に活かす
- ※あらゆる機会とはグループ病院とのかかわりや臨床実習指導者会議、就職説明会、実習地訪問などの現場と接する機会のこと

## III. 特記事項

### 評価委員意見

- ・資料請求者に対しての継続をしてのフォローが弱いと感じられる。TVCM などいろいろなメディアを使っての広報も必要。
- ・ホームページに在校生の意見を取り入れ、改善をしてみてもどうか。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4・ <b>3</b> ・2・1	職員間で共有されているが明文化されていない
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4・ <b>3</b> ・2・1	事業計画は策定されているが、中長期計画が設計されていない
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4・ <b>3</b> ・2・1	一部学則に記載し、運用
人事、給与に関する規程等は整備されているか	<b>4</b> ・3・2・1	医療法人に準ずる形で整備されている
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4・ <b>3</b> ・2・1	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4・ <b>3</b> ・2・1	行政指導に従い行なわれている
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4・3・ <b>2</b> ・1	積極的には行われていない
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4・ <b>3</b> ・2・1	学生管理が個別の表管理になっている

事務局説明

まだすべてが明文化されていない。昨年と比べ、情報公開、意志目的の共有などを行なってきた。

I. 課題

- ・明文化されていない部分がある

II. 今後の改善方策

- ・不足している部分の明文化

III. 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④・3・2・1	
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4・③・2・1	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④・3・2・1	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4・③・2・1	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4・③・2・1	SVM や学校化関係者評価、グループ病院との連携を利用している
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④・3・2・1	
授業評価の実施・評価体制はあるか	④・3・2・1	
職業教育に対する外部関係者の評価を取り入れているか	④・3・2・1	リハビリテーション教育評価機構
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④・3・2・1	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④・3・2・1	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④・3・2・1	
関係分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4・③・2・1	

<p>関連分野における先端的な知識・技術等の修得のための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか</p>	<p>4 ・ 3 ・ 2 ・ 1</p>	<p>関連病院での実務参加をし、教員の知識技術のバージョンアップができる機会がある</p>
<p>職員の能力開発のための研修等が行われているか</p>	<p>4 ・ 3 ・ 2 ・ 1</p>	

事務局説明

病院施設の方たちと接する機会（臨床実習指導者会議や就職説明会など）・学校関係者評価などを利用し、業界の情報収集を行なうようにしており、カリキュラム実施に落とし込むようにしている。

I. 課題

教員のスキルアップに関しての規程がない(本人に任せてある)

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

評価委員意見

- ・今年度より関連病院現場に教員が参加する形ができた。このことにより現場でも職員に効果が見られる。交流を維持し続けることは、職員にとっても学生にとってもメリットが大きいと考えられるので続けていただきたい。
- ・現場を使っでの体験できる授業が増えていくと良い

#### (4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
就職率の向上が図られているか	④・3・2・1	全体で就職指導、就職相談会の実施等
資格取得率の向上が図られているか	④・3・2・1	国家試験特別講座等の実施
退学率の低減が図られているか	4・③・2・1	個別指導等の実施
卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4・3・②・1	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4・3・2・①	

#### 事務局説明

昨年ご意見いただいていた同窓会の活用について調整を行なっていないので、今後進めていきたい。

#### I. 課題

機会があれば卒業生の就職後の様子を聞くことはあるが、とりたてて把握する活動をしていない

#### II. 今後の改善方策

同窓会との連携を図り、改善を図る

#### III. 特記事項

#### 評価委員意見

- ・インターネット上の同窓会・卒業生のページ作成

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④・3・2・1	就職相談会、個別指導の実施
学生相談に関する体制は整備されているか	④・3・2・1	担任制、スクールカウンセラー配置
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④・3・2・1	納付金の2期分納、特待生制度、公共制度申請など
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④・3・2・1	病院と連携し、健康診断実施、感染症抗体フォロー
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4・③・2・1	学校施設の活用
学生の生活環境への支援は行われているか	4・③・2・1	スクールカウンセラー配置
保護者と適切に連携しているか	4・③・2・1	定期的なものはないが必要に応じて
卒業生への支援体制はあるか	4・③・2・1	勉強会等実施 施設の貸出
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4・3・②・1	特別なことは実施せず
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④・3・2・1	中学校・高校の学院 訪問受け入れや職業啓発活動

事務局説明

今年度7月より、学生のカウンセリングの窓口を新たに設置し、学生に対応している。

I. 課題

II. 今後の改善方策

- ・それぞれ今年度開始したことの吟味、改定

III. 特記事項

評価委員意見

・学生カウンセリングが開設されたが相談者がいなかったことについて、相談しやすい環境を作ったり、インフォメーションの方法を変えたりなど改善を図る必要がある。

・看護学校では保護者への定期的な会（各学年での保護者会）を通じて、学生の就職や国家試験、卒後のことを伝え、コミュニケーションをとっている。何か考えてみてはどうか。



(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④・3・2・1	必要な要件を満たしている
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④・3・2・1	必要な要件を満たしている
防災に対する体制は整備されているか	④・3・2・1	必要な要件を満たしている

事務局説明

必要な条件は満たしている。

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

### (7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
学生募集活動は、適正に行われている	④・3・2・1	
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④・3・2・1	
学納金は妥当なものとなっているか	④・3・2・1	

#### 事務局説明

高校生や高校の進路指導者が必要としている情報を出せるよう対処している。

#### I. 課題

- ・広報の手段、方法、内容の見直しは常に必要

#### II. 今後の改善方策

- ・高校生や進路指導者が必要としている情報を常に把握をするよう訪問時は心がける

#### III. 特記事項

#### 評価委員意見（再記載）

- ・資料請求者に対しての継続をしてのフォローが弱いと感じられる。TVCM などいろいろなメディアを使っての広報も必要。
- ・ホームページに在校生の意見を取り入れ、改善をしてみてはどうか。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④・3・2・1	
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4・③・2・1	部分的に達成できていない
財務について会計監査が適切に行われているか	④・3・2・1	
財務情報公開の体制は整備できているか	④・3・2・1	

事務局説明

今年度よりホームページに情報公開をしている。

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④・3・2・1	
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④・3・2・1	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④・3・2・1	
自己評価結果を公開しているか	④・3・2・1	

事務局説明

自己評価や自己評価結果公表など、昨年に比べ大きく改善している。

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④・3・2・1	体育館の貸出など
学生ボランティア活動を奨励、支援しているか	4・3・②・1	特別なことはしていない
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4・③・2・1	依頼されたものは受けている

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

評価委員意見

市民公開講座での講座の開設

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

昨年、学校関係者評価を経て、改善されたことやまだ不足していることを進めることができた。

教員の医療現場実務参加ができる形になったのは、当学院の今後を考えると大きな事なので教員だけでなく、学生も見学や実習演習を含め、関われる機会を増やしていけるようにしたい。